Social Welfare Corporation JUJINOSONO Newsletter. 社会福祉法人 十字の園 社内報

2019年12月1日発行　第48号

ぶどうの木

冬号
2019 DECEMBER
Vol.48

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節より

『キレイだね　声が重なる　懐かしの海』

御殿場　特養ひばりユニット

特集：2019年度 十字の園大会 / 大会報告

目次

理事長挨拶
役員メッセージ
十字の園大会報告
クリスマスを迎えるにあたり
各事業所のトピックス
十字の園職員紹介"VOICE"
永年勤続表彰
幸せレシピ：松崎編
法人リーダー研修を終えて・あとがき

お互いの違いを認める事

Atsushi Suzuki

理事長　鈴木 淳司

今年は、台風で各地に甚大な被害があり、大変なご苦労や辛い思いをされている方々がおられます。被災された方々には心よりお見舞い申し上げ、皆様の一刻も早い復興を心よりお祈りいたしております。

また、私たちにできる支援の輪を広げていきたいと思います。

十字の園でも、台風被害があり、職員の皆様が互いに協力し、大変な状況を乗り切って下さいました。職員の皆様、本当にありがとうございました。

非常時に連携が取れることは、普段からの積み重ねです。改めて介護は、お互いの連携が重要だと感じます。

皆さんは、連携について何を心掛けておられますか？

色々ありますが、先ず、お互いの違いを認める事だと思います。違いを認めずに連携を考えると、自分と違う行動をする相手の粗ばかりが見えます。ケアは、補い合う事ですから、自分の動きと、仲間の違う動きが補い合い一つの仕事になります。

では、私たちはどうすれば良いのでしょうか？

例えば、転倒リスクの高い方の見守りの時、転倒と言う未来の不安が大きいと、ご利用者への眼差しは、「転倒しないでね」となります。もちろん転倒防止は大切ですが、ご利用者に感じてもらいたいのは、「転倒をしないで動く」と言う職員からのプレッシャーではなく、リラックスして動くことができる安心感です。

その為に必要なのは、ケアする人が、自分が安心と感じる状態を考える事です。そして、見守ってみます。すると、自分の感覚と、ご利用者の感覚の違いが感じられます。

違いを感じるには、自分が安心して動く時と、緊張して動く時の動作の違いを知ることが必要です。その感覚を物差しに、ご利用者の動作の違いを観察します。この事で、ご利用者に合わせるケアを考える事ができます。

自分の考えが持てないと、相手との違いは理解できません。理解できないと、関係を修正できませんから、相手との良い関係や連携が難しくなります。

これらの事は文字にすると難しいですが、職員の皆さんは日頃から既に行って下さっています。

これからも、皆さんの連携により、その人らしさを尊重し、互いに喜んで支援できるように協力し合って、より良い十字の園にしていきたいと思います。

皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

機関誌ぶどうの木について

ヨハネによる福音書15章に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とあります。ぶどうの木のたとえ話は、神様と私たちのつながりを表しております。
神様との結びつきの中で、皆様と一緒に多くの実を結べることを皆さんと一緒に喜びたい、その様な思いから機関誌名を「ぶどうの木」としました。

理事・伊豆地区統括

『変えられた私』

Yoji Sanjo

松崎十字の園
施設長
三條 洋二

十字の園に勤めて27年、松崎十字の園の建設と運営に係わって20年近くなります。そして今まで、法人に係わる事では、評議員や理事としての役割を頂きながら現在、伊豆地区の統括理事という立場と施設では、特別養護老人ホーム、障害者支援施設、就労支援B型事業所の責任者という立場にいます。そうやって肩書が、いろいろと付いているのですがそれらの仕事の事をすべて把握し、職員に指示して運営を進めて行く力が私にはある訳ではありません。すべての事について共に働いてくれる職員の力があって今の松崎十字の園が成り立っており、その職員たち一人ひとり働きに感謝であります。

私自身は、福祉に関する介護福祉士や社会福祉士等の資格もなく、過去に生活相談員を行うに当たって、講習を受けて頂いた主事の資格があるだけであります。そして、お酒が好きな事もあって自動車の運転免許証が無い中で、周りの方々に助けられて、今までやってきました。

松崎の施設建設が終わる頃、私は、前理事長の平井さんからそのまま施設運営をするように言われ、クリスチャンでない施設長が十字の園に誕生する事になりました。

私自身は、義理の父が寺の住職で、義父から得度を受け、仏教徒として生活をしていましたが、十字の園に勤める中で社会福祉を行うには、キリスト教の精神こそが大切であると考えるようになり、それを上手に説明する言葉を探す事が私の第一の使命だと思っております。

仏教徒ながらキリスト教福祉とは何であろうかと考えつつ施設の礼拝では、聖書を読んでお話をする機会を与えられ、また松崎教会の礼拝に参加する中で、星野牧師より洗礼を受け、キリスト教の信仰が与えられました。

つまり、大きく、変えられる事が時間をかけてあったのです。そして、今もキリスト教福祉とは何か、神の働きとはどのような事か、命と永遠について考える日々であります。これまでの事すべてに感謝であります。

理事

『共に歩む』

Hideyuki Ogawa

伊豆高原十字の園
施設長
小川 秀幸

本年6月の評議員会におきまして、理事に就任いたしました理事兼伊豆高原十字の園施設長の小川秀幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

2016（平成28）年の社会福祉法人制度改革により、理事、評議員の役割、責任が大きく変わり、理事会は業務執行に関する意思決定機関として位置付けられ、私自身、責任の重さを日々感じながら務めさせていただいております。

さて、私たちのような介護・福祉業界では、さまざまな問題、課題が山積しております。団塊の世代が後期高齢者に達する事により、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念されている2025年問題が目前にあり、さらに1.5人の現役世代（生産年齢人口）が1人の高齢世代を支えるかたちになる2040年問題も迫っております。すでに介護職員の人材不足も問題となっており、外国人労働者や介護ロボットの力などを必要とする法人や企業が多くなってきています。十字の園でも現在活躍している職員が、いずれ定年退職などで現役を退くことは間違いありませんので、今後、事業を継続する上で人材確保は喫緊の課題であり、職員の採用に注力する必要があるでしょう。そうした中でも、量として職員の数を整えるだけではなく、質も整えていかなければなりません。介護は人と人との仕事です。法令の遵守はもちろんの事、介護の専門知識だけではなく、誰に対しても日頃から良好なコミュニケーションがとれるような能力は必須です。さらに、十字の園の職員としては、「行動規範」に則って行動できるようにならなければなりません。この度私は、人財育成・研修部門の担当理事にもなりましたので、十字の園の理念「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」のもと、皆さんとこれらの課題に取り組みながら共に歩んで参りたいと思います。

「2019年度 十字の園大会／大会報告」（担当：浜松地区）

主題　『創立の精神（こころ）から新たな福祉に挑戦（チャレンジ）～すでに据えられている土台の上に～』

テーマ　『原点回帰～十字の園の歩む道～』

11月12日（火）、13（水）の2日間、年号が令和に変わって初めての十字の園大会が、浜松地区主催で開催されました。今回のテーマは『原点回帰～十字の園の歩む道～』。平井章前理事長から鈴木淳司理事長に理事長の任がバトンタッチされ、創立時から脈々と受け継がれてきた「十字の園精神」とは何か、そしてこれから築く十字の園の新しい時代、十字の園らしい働きとは何か。今一度「原点」に立ち返り、十字の園のこれからについて、職員皆で話し合う機会となりました。

基調講演は、日本基督教団河内長野教会森田恭一郎牧師をお迎えし、『ケアと礼拝の関り』と題してご講演いただきました。礼拝があってケアが生き、ケアがあって礼拝で与えられる言葉が生きるということ。隣人愛とは、神様に愛されている自分のように隣人を愛することなど、聖隷と十字の園の原点を支えた先人たちの言葉やエピソードを交え、大変分かりやすく、教えてくださいました。

課題講演は、金谷栄養研究所所長金谷節子氏をお迎えし、「世の闇を照らす誠の光となれ」と題してご講演いただき、ハニ姉妹から聞いた言葉、ホスピス立ち上げ時の経験、緑茶などの研究について紹介がされました。

例年、大会2日目は、各施設からの研究発表を行っていましたが、今回は、分科会形式の勉強会を行いました。どんな事業、職種でも関りのある『権利擁護』、『若年利用者とのかかわり方』、『地域での暮らしを支える』、『施設での看取り』の4つの分科会に分かれ、若い職員からベテラン職員まで、様々な職種の職員が、忌憚のない意見を出し合い、実りある学びと交流の機会となりました。

第24回　十字の園大会 プログラム

第1日　【11月11日(火)】	
13：00～	開会礼拝
13：20～	開会の挨拶
13：25～	理事長挨拶
13：40～	基調講演　森田恭一郎牧師
15：15～	課題講演　金谷節子氏
16：45～	オリエンテーション
18：30～	夕食交流会
第2日　【11月12日(水)】	
9：00～	分科会
11：00～	全体会
11：45～	閉会礼拝
12：00～	閉会挨拶

分　科　会

共通テーマ『利用者の希望を叶えるケア』	
第1分科会	権利擁護 ～意思決定支援を考える～
第2分科会	若年性利用者とのかかわり方
第3分科会	地域での暮らしを支える
第4分科会	施設での看取り

基調講演 『ケアと礼拝の関り』

講師：日本基督教団河内長野教会 牧師
森田恭一郎 氏

『十字の園の原点を考える時、礼拝ということを抜きには考えられない。』木が倒れないでいられるのは、地下の見えない部分（根っこ）がしっかりしていることが大切。十字の園でのケアに例えると、見える部分は、ケアの実践、技術、知識といったもの。見えない（根っこ）部分は、十字架の下に一つになって神様の力と結びついているということ。見える部分と見えない部分を結びつけるものが礼拝であり、一人一人に合わせたケアの実践と礼拝の二つが見える形で実践されると、神様の力の大きさ、恵の大きさ、愛の大きさが、ご利用者、職員に伝わっていく。だから、礼拝は必要である。

隣人愛とは、相手はどうであれ、自分が神様から愛されていることを知っている。だから、相手も神様から愛されていることを知り、その愛で支え合うこと。それを伝えるのも礼拝である。

課題講演 『世の闇を照らす誠の光となれ』

講師：金谷栄養研究所 所長
金谷節子 氏

聖隷三方原病院で栄養士として長年勤められた金谷先生は、十字の園開設時にボランティアとして浜松十字の園に来られた経験があり、ハニ姉妹との思い出、ディアコニッセから教わったクリスマス飾りのことを話されました。

日本初のホスピス開設時には、ご利用者や家族に役割を用意する工夫などが紹介されました。また、十字の園も協力した緑茶やオイルの研修も紹介され、最新の研究結果から、緑茶が癌を予防する効果が示されていることなどが説明されました。

健康に働く上で、睡眠と食事が大事であり、朝食をしっかりとることが良い睡眠に繋がること。そして、特に良質なたんぱく質を朝に摂取することは、体を作り変えるステロイド合成に影響するので、非常に大切であると語り、具体例として、朝食に卵１つと魚を食べることをおすすめしていました。

先生は、働く現場最前線の中に、輝く宝石が埋もれていること、サイエンス性（科学）とアート性（創造）の両方を駆使して、新しいことに挑戦し続け、時代を切り開くこと、さらに、あなたの健康がすべてのスタートであることを力強く語られました。その姿は、十字の園や聖隷の初期の人々の働きを垣間見る、貴重な機会となりました。

最後に講演は次のメッセージで締めくくられました。

自分はどこまで楽しんで生きているか。自分が生かされている喜びを実感できて、初めて、他者を楽しませる事ができる。

分科会 全体会

『権利擁護』、『若年性利用者とのかかわり方』、『地域での暮らしを支える』、『施設での看取り』の４つのテーマでの分科会を行い、その後の全体会で発表を行った。少人数での話し合いの場であったため、どの分科会でも、和気あいあいとした雰囲気の中、参加者皆が、活発に意見を出し合い、十字の園大会のテーマの一つでもある“職員交流”の機会となった。

最後の講評で、浜松十字の園山本施設長から、テーマこそ違えどどの分科会でも “ご利用者に寄り添う事が大切” ということがあげられ、それは、十字の園の理念に基づいている。という言葉で締めくくられました。

クリスマスを迎えるに

三人の博士を知っていますか。博士たちは、クリスマスの夜、空に輝く大きな星を頼りに人探しを
そして見つけたのが幼子イエス・キリストです。クリスマス(christmas)という言葉の、クリス（ch
キリスト、マス（mas）はミサで礼拝、つまりクリスマスは「キリストの礼拝」を意味しています。聖
博士たちが「ひれ伏して幼子を拝み、宝箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として捧げた」とい
書かれています。世界で一番初めにクリスマスをしたのは、博士たちかもしれません。しかし、この
がその後どのような人生を送ったのかは物語に書かれていません。一生病気をせずに健康に生きたと
な家庭を築いたとか、仕事で大活躍したとか、何も報告がないのです。これがクリスマスの喜びです。博士
他の事は何も報告する必要がないほどに、幼子イエス・キリストを礼拝する事が最高の喜びだったの
人の博士がどのような人たちだったのか、想像がつきません。しかし、クリスマスによって彼らの全
が慰められ、意味のあるものとなった事はわかります。

このクリスマスの祝いに、教会では皆さまを招待しようと思います。毎年、楽しい時間が準備されて
お祝いが終わり、家に帰るのが寂しく感じるほどです。聖書に書かれるクリスマスの祝いもやはり終わり
三人の博士たちは家に帰ったと書かれてあります。三人の博士たちは、また平凡な暮らしにもどった
うか。祝会を終えた私たちは、また何もなかったように、もとの生活を始めるのでしょうか。そうではあり
博士たちがひれ伏した幼子には、もう一つ名前が与えられていました。その名はインマヌエル。わた
なたたちと共にいるという名前です。

日本基督教団　伊東教会伝道師

MERRY CHRISTMAS

あたり

しました。
hrist）は
聖書には、
う物語が
博士たち
か、幸せ
士たちは、
です。三
ての人生

ています。
りがあり、
のでしょ
りません。
しは、あ

上田 文

伊東市立養護老人ホームの

クリスマス会

みんなで作り上げます

今年も
みんなで
楽しい
クリスマスを
感謝します

特養

御殿場　ひばりユニット

「離れて暮らす家族や友人に会うために伊豆旅行に行ってきました。」

さあ出発でーす。メンバーは利用者さん２名、職員３名。
どんな１泊旅行になるのかな。

「元気だったかい？」 二人は夫婦

久しぶりの松崎で、親子でパチリ
「家族に会いたい」を叶えるために

「家族に会いたい」を叶えるために

久しぶりに妹夫婦に会うことが
出来て嬉しそうです。

宿泊させて頂いた松崎十字の園の玄関前で。
松崎の皆さんには大変お世話になりました。

懐かしい海の
風景をバックに

ショートステイ

松崎

障がい福祉サービス 短期入所 オリブ　短期で深める　兄弟の絆

AさんとBさんは兄弟です。兄のBさんは自宅で過ごしワークショップマナに通っています。弟のAさんはオリブに入所しています。普段は施設と在宅で別れて過ごされていますが、Bさんがショートステイを利用される事で、兄弟のつながりが切れることなく続いています。

月２回、オリブのショートステイに来た時には、弟のAさんに会って兄弟で一緒に時間を過ごします。

弟に「タンスの中がグチャグチャだよ！しょうがないなあ～。僕がきれいに整頓してやるよ」といっていつもタンスを見てくれます。

働き者の２人は、オリブの洗濯や掃除を手伝ってくれます。

「弟は、僕が見てやらないとさっ」と言って、毎回居室の中を見まわっていきます。Bさんにとってのショートステイ利用は、離れて暮らす弟を気遣う時間です。

各事業所のトピックス

デイサービス　浜松　細江デイサービスセンター

細デイの口腔ケア

緑豊かな景観、楽しみながら取り組める日替わりリハ（歌体操・盆踊り・座って太極拳・ヨガ）や個別での機能訓練。食事前の口腔体操や歯科衛生士による定期的な歯磨きチェック。四季折々のレクリエーションと活動的に楽しく過ごせる空間を目指しています。

機能訓練指導員　夏山尚（理学療法士）・原田由起（看護師）

♪ごはんの後は順番に歯みがき

ピーピー体操

リズムに乗って歌体操

午後からしっかり健康体操

その他事業　伊豆高原

認知症カフェ　ふるさとカフェ in 八幡野

認知症カフェとは、認知症の方やその家族、認知症に関心のある方や地域の方々が集える居場所です。

ふるさとカフェでは、認知症の人やその家族・地域住民・福祉・医療の専門職が集い、情報交換や認知症予防のために活動しています。仲間や地域の人たちと協力しながら、活き活きと日々が送れ、笑顔あふれる地域づくりを目指しています。

職員紹介

STAFF INTRODUCTION

VOICE

永年勤続者編

Introduce the face of the staff

利用者さんを尊重する事を大切に

この度、勤続30年の表彰を受けた角田さんに聞いてみました。

Q 十字の園で働いてみて一番うれしかった事は何ですか？

「30年続けて働けたことですね。」

Q 十字の園で働いてみて一番つらかった事は何ですか？

「自分の親が亡くなった時でした。あと利用者さんが亡くなった時はいつもつらい気持ちになります。」

角田さんの趣味は旅行です。
写真は長野のあけぼの山荘

Q なぜここまで長く働けたと思いますか？

「職員間の人間関係が
良かったからかなと思います。」

Q 角田さんが仕事で一番大切にしている事は何でしょうか？

「利用者さんを尊重する事を
大切にしています。」

STAFF File.02

つのだ　やすこ

角田靖子

平成元年3月1日入社（勤続30年）

特別養護老人ホーム　御殿場十字の園
2F　施設介護支援専門員

永年勤続者の皆さんに聞きました

十字の園で勤続10年～ 30年と頑張ってきた職員の皆さんにアンケートをとらせて頂きました。

十字の園で長く働いてみて・・・。質問回答ランキング！

1 一番うれしかった事楽しかった事は何ですか？

1位 利用者さんとの信頼関係が出来た。感謝された事
2位 職場仲間との関わりや励まし、共に働けた事

他には・・・。
資格取得した時
自分の働きが役に立った時

2 一番つらかったことは何ですか？

ガンバリ

1位 利用者さんとの別れ
2位 職場の人間関係・意見の不一致

他には・・・。
介護への心残り
体調不良・腰痛・苦情対応

3 なぜここまで長く働くことが出来たと思いますか？

1位 周りの職員・仲間の支え・苦労の共有
同じ志の仲間の存在があったから
2位 生活の為

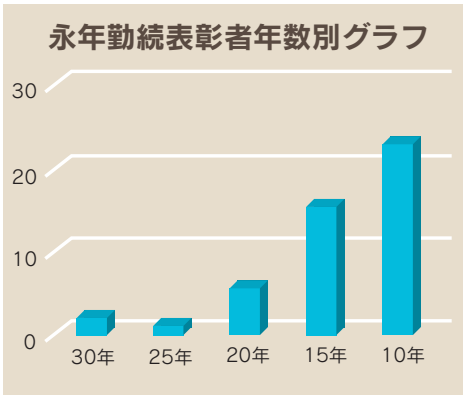
他には・・・。
利用者の支え・笑顔
役割を与えられ自由に仕事できたからなど

4 永年勤続の自分へのご褒美は？

（編集者感動ランキング）

1位 支えてくれた家族のサービス費にし、その時の家族の笑顔を自分のご褒美にします。
2位 支えてくれた母への贈り物をしたい

他には・・・。カニ、サーフボード、釣り道具、家族と食事、旅行、カバン、化粧品、ライフジャケット、おもちゃ、家電、布団、スイッチライト　など　千差万別です。



永年勤続表彰者年数内訳
30年：2名、25年：1名、20年：5名、
15年：17名、10年：23名

聞いてみました！
これだけ長く働けた理由は何ですか？

永年勤続者表彰

Permanent service commendation

永年勤続おめでとうございます。

30年

御殿場十字の園

杉山 克代

「生活のため。」

30年

御殿場十字の園

角田 靖子

「職員間の人間関係が良かったからかなと思います。」

25年

第２アドナイ館

鈴木 敬二

「この仕事が好きだから。」

20年

御殿場十字の園

塚本 りつ子

「人が好きなんだと思います。」

20年

浜松十字の園

永田 昌代

「健康と困ったときに助けてくれる仲間がいたから。」

20年

浜松十字の園

荒川 浩幸

「介護技術の向上とポジティブな気持ちで仕事を楽しみながらする。」

20年

浜松十字の園

田力 香織

「悩んだ時相談できる人がいたから。」

20年

伊豆高原十字の園

小川 智子

「上司や同僚に助けられた事。これがなければとっくに辞めていました。」

勤続15年

溝口 真紀	浜松十字の園	岡田 ふさの	御殿場十字の園	秋元 徹	松崎十字の園
渡邉 直美	御殿場十字の園	勝俣 千絵	御殿場十字の園	小磯 尚文	松崎十字の園
板橋 君江	御殿場十字の園	中川 修大	松崎十字の園	長嶋 園恵	松崎十字の園
池谷 洋子	御殿場十字の園	関 弘美	松崎十字の園	馬場 弘	松崎十字の園
宮地 秀明	御殿場十字の園	藤池 久美子	松崎十字の園	鈴木 敏江	松崎十字の園
勝又 智子	御殿場十字の園	佐藤 秀子	松崎十字の園		

勤続10年

川合 佑哉	浜松十字の園	芹澤 和江	御殿場十字の園	佐々木 正章	松崎十字の園
奥山 宗寿	浜松十字の園	増田 真二	伊豆高原十字の園	三宅 美恵子	松崎十字の園
森 直美	浜松十字の園	山下 啓一	伊豆高原十字の園	石田 恵	松崎十字の園
森島 麻貴	浜松十字の園	佐山 貴信	松崎十字の園	末岡 きよみ	松崎十字の園
舟木 美津代	御殿場十字の園	渡邉 治郎	松崎十字の園	山田 敬紀	伊東市立養護
山本 健太	御殿場十字の園	宇津 孝幸	松崎十字の園	飯田 有美	第２アドナイ館
磯野 芳美	御殿場十字の園	三津谷 祐子	松崎十字の園	市川 百合子	第２アドナイ館
杉山 かおる	御殿場十字の園	大塚 知憲	松崎十字の園		

No.48
発行：(福)十字の園法人本部　理事長 鈴木 淳司
印刷：アド・アール株式会社
住所：〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7220-11 TEL 053-414-1400 FAX 053-420-2100
発行日：2019年12月1日　第48号
(掲載されています写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています。)

おすすめレシピ Vol.1

見た目も華やかにしてみました！

シフォンケーキ（19cm型）【1台分】

FOODSTUFF

小麦粉	90g
砂糖	100g
牛乳	55cc
油	55g
卵M	4個
ベーキングパウダー(BP)	6g

※HM…ハンドミキサー

今回のメニューは

☆抹茶香るあんみつ
☆2食のぜんざい
☆シフォンケーキ
☆プリンアラモード
4つの中から1つ好きなおやつを選べます

幸せレシピ 松崎編

おやつバイキングの目玉メニュー「ふわふわシフォンケーキ」

松崎恒例秋のおやつバイキング！厨房職員手作りのシフォンケーキやプリンアラモードなどが並びました。利用者様の喜ぶ顔を考えながら作る職員も自然に笑顔になっています。

栄養士／飯泉順一

【作り方】

※オーブンを160℃で予熱しておく。

1 卵黄と卵白を分けてそれぞれボールに入れる。
2 卵白を攪拌し、メレンゲを作る(角が立つまで)。
3 卵黄に砂糖を入れHMでよく混ぜ、油を入れて良く混ぜ、牛乳を入れてよく混ぜる。
4 3に粉類を合わせて振るい入れ、よく混ぜる(HM)。
5 4に2のメレンゲの1/3を加えよく混ぜ(HM)、残りのメレンゲを入れたらゴムベラに持ち替えさっくり混ぜる。
6 型に薄く油(分量外)を塗り、5を入れる。
7 型を軽く台へ落とし、空気を抜く。
8 オーブン160度で25分焼く。
9 焼けたら先の細い瓶などに刺して逆さにして冷ます。
10 型から外して完成。

POINT
5はメレンゲの気泡を潰さないように優しく混ぜましょう。
7は強すぎると生地が漏れるので注意！

法人リーダー研修を終えて

浜松十字の園　在宅2課　課長　古橋 美恵子

2019年9月18日～20日。2泊3日で法人リーダー研修が行われました。

この研修は次期リーダーの育成を目的に毎年この時期に実施しており、今年は法人各施設より11名が参加して行われました。

1日目は、「創立の精神と理念を学ぶ」をテーマに、聖隷歴史資料館にて理事長の講義を受け、ムッターハウス（母の家）で平井前理事長からディアコニッセの働きについて貴重な資料を見せて頂きながら学ぶことが出来ました。夕食後の交流会では、皆さん名前はもちろん血液型、今回の研修の意気込み、「実は私○○なんです。」とひとりひとりが自己紹介をしていくうちに、「質問あり」「笑いあり」「共感あり」さすがリーダー、話上手！聞き上手！瞬く間に距離が縮まっていくことを感じました。

2日目、3日目は、ふくしえん社労士の後藤功太氏による講義が行われました。
「役割認識」「人間力」「承認力」をテーマに、グループワーク中心の和気あいあいとした雰囲気の中、職場に活かせる多くの学びがありました　最終日には「承認力向上シート」を作成し、また「明日からの目標」を全員の前で宣言しました。それぞれの職場で、目下実践中です。2月のフォローアップ研修で取り組みの成果を報告し合います。皆さんと再会することを楽しみにしています。

あとがき

今年も残すところ1ヶ月となり、クリスマスが近づいてきました。

クリスマスフラワーと言えばポインセチアですが、クリスマスカラーに由来します。花の色が赤色、葉の色が緑のクリスマスカラーであることと、葉っぱの形がベツレヘムの星に似ていることからクリスマスに使われるようになりました。

クリスマスを飾るにふさわしい色合いをしているので、ツリーと一緒にお部屋に置いてもよさそうですね。（とみおか）

令和元年 台風19号義援金の報告

社会福祉法人十字の園は日本赤十字社を通じて26,354円を被災地へ寄付致しました。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
被害に対する募金を引き続き行っています。

表紙写真の説明

利用者さんの故郷伊豆へお泊り旅行に行った時に立ち寄った下田の海辺にてあまりにもきれいな風景で職員と利用者さんとでじっくり眺めていました。その姿を後ろから撮った写真です。